

今は子どもとの時間を大切にしています



松本 博雄 准教授

今回は教育学部の松本博雄准教授に、教育学部の江田真奈美さん・松岡沙紀さん・白川綾香さんと一緒にお話を伺いました。

Q：お子さまはおいくつですか？

5歳、2歳半、6か月でみんな女の子です。授業に一番下の子は連れてきましたが、子どもと一緒にいると父親の顔になってしまいます。（笑）子育てで一番大変だったのは、上の子の夜泣き。1歳から3歳までずっと悩まされました。夫婦とも発達心理学の研究者ですが、結局原因はわかりませんでした。妻と私の子育ては6：4くらいの割合。近くに両親も居ないので二人でしないと子育てが回っていきません。我が家はもともと家事は当番制ではなく、手が空いている方がする。今は単身赴任なので、週末帰った時にせっせとまとめて働いています。

Q：現在単身赴任中とのことですが、香川に行くと言ったとき、お連れ合いはいいよと言ってくれましたか？

私は大学教員9年目の転職でしたが、妻に背中を押してもらいました。妻に負担をかけていると思う。研究者をしている夫婦は、離れて暮らしていることが本当に多いです。結婚当初の1年は妻の仕事の関係で別居でした。今回、妻が香川に来るにしても仕事思うように見つからない。でもお互い「幼児期の子ども」への思いが強いので、「今が大事」といっしょに暮らすことを決めました。もし妻にチャンスが来たら「いいよ」と言って、今度は自分がついていけるよう今は大学の仕事をやり切りたいです。

Q：お子さまの保育園は？

わが子はみんな2か月の時から保育園に通ってます。自分たちが保育の研究をしているので保育者を信頼している。自分の力を信じてないから色々な人に見てもらう方がいい。子どもにとって色々な人に出会えることが財産だと思います。住まいも保育園も大学のそばに決めました。迎えに行くと子連れで仕事しに職場に戻れます。先日、市役所の面接に緊張して行きましたが、丁寧に対応してもらえました。高松の保育園事情はいいです。

Q：香川大学の子育てに取り組む男性にエールを

子育ては「こうでなきゃだめ」は案外少ないもの。結構ハードな状況になっても何とか乗り切れるものです。そして、子育てをしていると世界が広がります。子どもを通して大学以外の人とも知り合えます。保育園の「父ちゃん会」も楽しいですよ。出会いの広がりを面白がってほしい。子どもに試される中で自分の弱さもわかります。子育ては出会い。手間だと思うはず楽しくやってほしいです。

アンケート結果報告

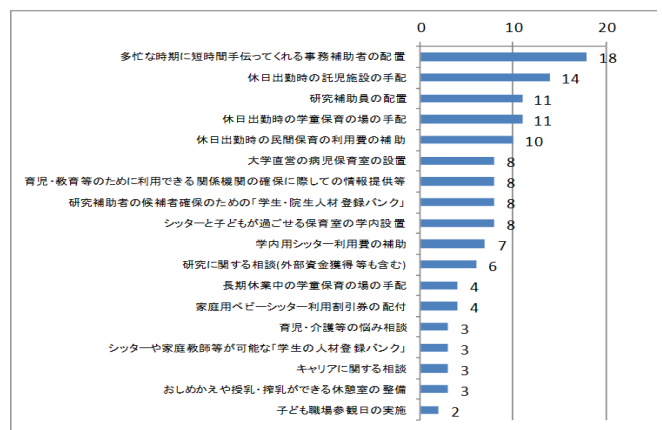
以前行ったアンケート結果について報告いたします。ご回答いただきました皆さま、たくさんのご意見ありがとうございました。

『今後実施を希望する事業はありますか？』という問いに対して右記のような結果を得ました。

また、その他の具体的要望として、下記のようなご意見もいただきました。

- ・在宅勤務を含む柔軟な勤務形態
- ・病中、病後で登園等が不可能で、休めない仕事があった場合、一時的に保育をお願いできる施設が学内にもあればなあと思います。
- ・ポストクや研究補助員の現状把握がほしいです。
- ・例えば小学校等の臨時教員のように、出産・育児にかかる休業期間に、任期付きの臨時教員が雇えるようなシステムがあれば、気兼ねなく休めるのではないかと思います。
- ・せっかく教育学部に幼児教育の教室があるので、その学生のアルバイト活用も考えられたら良いのではと思います。
- ・特に、小学校によって放課後子ども教室の有無や、利用できる時間・学年（ほとんどの場合、18時まで、小学校3年まで。4年生以上はみてくれない）で、保育所よりも小学生の方が制限が大きいと思います。この点を大学としてどのようにフォローできるかです。

他にもたくさんのご要望をいただきました。少しでも対処できるよう努力していきますので今後ともよろしくお願いします。



香川大学 男女共同参画推進室 olive・heart



香川県高松市
幸町1-1
北5号館1階

電話：087（832）1055
FAX：087（832）1057



電子メール：sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp
HP：http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/